



第37代理事長
川島 孝夫

- 副理事長
須永 浩 吉
板橋 一 博
小泉 博 毅
松村 毅
- 専務理事
江原 弘 義
- 事務局長
高橋 勉
- 会員開発委員長
斎藤 昌 之
- 青少年支援委員長
西田 孝 志
- 政治を考える委員長
清水 雅 巳
- 両毛未来委員長
石井 士 朗
- 生活環境委員長
藤生 知 久
- 市民ネットワーク推進委員長
芝宮 市 昭
- 文化財パトロール隊長
館野 義 一
- マラソン特設委員長
飯島 正 弘
- 監 事
大橋 弘 一
新井 栄 一
二ノ宮 滋 夫
滝沢 孝 夫

スローガン
**変える勇氣と続ける力でかなでよう
すてきな地域のハーモニー**

○会員数 105名
○年会費 100,000円

35周年という1つの区切りのあとを受けたこの年、40周年へ向けての新たなスタートの年として、その礎となるべく運動展開が行われた。そして、「将来の地域（まち）の姿は、現在の私達の意識であり選択である。そうありたい、いや、そうあるべきである。」との考えのもと、長年実現できなかった中長期ビジョンを三役担当特別事業として「ACT-ONE」という形で発表をおこなった。このことは、その後のJC運動の方向性を模索していくために、大変意義のあることであった。

また、世代交代期を迎えたこの年、次代を担う人材の育成に力を入れ、8委員会を設置。その成果は、経験の浅い委員長たちが、また各々の委員会スタッフがJC運動を1年間成し遂げた中から生まれた自信と責任感という形で、足利青年会議所全体にとっても大きな財産となって残り現在に至っている。



足利JCの主な出来事

- ◆三役策定中長期ビジョン「ACT-ONE」
- ◆青少年コンペティション
- ◆「わたらせ・サマー・フェスタ」
ゴミゼロキャンペーン
- ◆足利サッカークラブジュニア(ASCJ)設立
- ◆文化財パトロール隊事務局開設
- ◆公開例会「まちづくりはせいじづくり」
- ◆金子充君、両毛6JC第24代会長となる
- ◆陸上競技場改修に関する要望書提出
- ◆さわやか健康マラソン大会・尊氏公マラソン



足利市の主な出来事

- ◆「福寿大橋」が開通
- ◆「納税推進都市宣言」がされる
- ◆「市長への手紙」・「緊急通報システム」などが始まる
- ◆125年ぶりに足利学校の庠主（しょうしゅ）に中村 元（はじめ）氏が就任
- ◆山辺西部第1土地区画整理事業が開始
- ◆都市景観大賞の都市景観100選（建設大臣賞）に『足利学校・鑿阿寺周辺地区』が選定される
- ◆水処理センターに汚泥焼却施設が完成
- ◆生活援助員のいる『いきいきハイツ江川』の入居開始
- ◆消防本部に高規格救急自動車を導入



都市景観100選に選定



市立美術館が開館

この年の代表的なニュース

- ◆中華航空機が名古屋で着陸失敗
- ◆向井さん宇宙へ
- ◆大江健三郎にノーベル文学賞
- ◆ゼネコン汚職
- ◆各地で記録的猛暑
- ◆水不足が深刻化

☆流行語

「同情するなら金をくれ」、「フェミオくん」、
「すったもんだがありました」

☆流行歌

- ・innocent world (Mr.CHILDREN)
- ・恋しさとせつなさと心強さと (篠原涼子)
- ・空と君の間に (中島みゆき)
- ・IT'S ONLY LOVE (福山雅治)
- ・HEART (ASKA)